

偉人たちの息吹

男女共同参画社会の礎を築いた四賢婦人や、近代日本を代表するジャナーナリスト・徳富蘇峰。潮井自然公園でそんな偉人たちの足跡をたどることができます。

記念館やゆかりの植栽で偉人に思いをはせる

近代日本における女子教育や女性の地位向上に尽力し、今日の男女共同参画社会の礎を築いた矢嶋家姉妹、竹崎順子・徳富久子・横井つせ子・矢嶋楯子。「四賢婦人」と呼ばれる姉妹を顕彰する四賢婦人記念館が潮井自然公園内にあります。

記念館のそばには、徳富久子の長男で、明治から昭和にかけて活躍したジャナーナリスト・徳富蘇峰にゆかりのあるカタルパの木があります。同志社の創始者・新島襄がアメリカから種子を持ち帰り、徳富蘇峰に送ったものがカタル

パの祖先です。四賢婦人が新島襄・八重夫妻を支えたことや、益城町が新島襄と師弟関係にあった徳富蘇峰の生誕地であることから、「徳富記念園」のカタルパから株分けし植樹されました。

親水エリアから階段を上ったところには、昭和27年に卒寿(90歳)の祝いとして蘇峰自らが町民と共に植えたイチョウもあり、偉人の足跡をたどることができます。

記念館には、矢嶋家の人々や徳富蘇峰に関する資料、当時実際に使われていた生活用品、掛け軸などが展示されており、常駐する「ふるさと学芸員」が分かりやすく案内してくれます。



- 1 徳富蘇峰記念植樹のイチョウは潮井神社のある高台に
- 2 徳富蘇峰ゆかりのカタルパの花(増田訓子さん提供)
- 3 矢嶋家の人々に関する資料が展示されている記念館

四賢婦人記念館	開館時間	午前9時30分～午後4時30分
	休館日	月曜日(祝日の場合は火曜日) 年末年始 12月28日～1月4日
	入館料	無料
		☎ 286-4959



終わりに

冒頭の写真を撮影した展望所から公園を見渡すと、凜とした空気に包まれた神社境内を通り、心地よい風が体を吹き抜けます。耳を澄ますと聞こえてくるのは、風に揺れる木々や水源から流れる水の音。益城の奥地に広がる自然の宝庫では、いつもと少し違う時間が流れています。

5月下旬から6月上旬には、ホタルの舞を見ることもできます。地震や工事の影響で一時姿が見られなくなりましたが、今年、親水エリアに幻想的な光景が広がっていました。そのほかなく美しい光を後世に残すために、自然を守るだけでなく、より豊かにする。それが私たちの心の豊かさにもつながるのではないのでしょうか。

特集 潮井自然公園

ホタル舞う潮井の景色をいつまでも――